

学習の流れの例

- 自助・共助・公助についてp.32を参考に理解する
 - 自助は今までの学びで培っていることに気付く
- それぞれの課題について考える
 - 例) 備蓄している家庭が少ない、地域防災訓練に参加している人が少ない、地域の交流が少ない等

- それぞれの課題の解決策を考える
 - 例) 全生徒に備蓄の重要性を記したプリントを配布する、学校行事の案内を色々な場所に掲示し地域の方に来ていただく、家庭で防災について会話する等

学習後の生徒の姿

主体的に学習に取り組む態度

自助、共助、公助について知り、それぞれの課題を見つけ、他者と協力しながら課題を解決しようとしている

①阪神・淡路大震災では、7割弱が家族も含む「自助」、3割が隣人等の「共助」により救出されており、「公助」である救助隊による救出は数%に過ぎなかったという結果がある。災害を「他人事」ではなく「自分事」としてとらえ、減災意識を高め、具体的な行動を起こすことが重要。

※参照：内閣府防災情報
「平成30年版 防災白書 第1部 第1章 第1節 1-1 国民の防災意識の向上」

②東日本大震災においては、地震や津波によって、本来被災者を支援すべき行政自体が被災してしまい、行政機能が麻痺した。このように大規模広域災害時における「公助の限界」が明らかになり、自助、共助及び公助がうまくかみあわないと大規模災害後の災害対策が、うまく動かないことが認識された。

※参照：内閣府防災情報「特集 第1章 大規模広域災害と自助・共助の重要性」

③大規模災害が発生し、東日本大震災のような大津波が目前に迫ってきたとき、誰かが助けてくれるのを待つ時間は全くない。自分の命は自分でしか守れないということを強く認識する必要がある。

※宮城県大和町「自助、共助の重要性」

④阪神・淡路大震災では、倒壊家屋の下敷きになった人の約8割が家族や隣近所に救出されたそう。いざという時に協力し合い、助け合える「共助」の関係を隣近所と築くことが大切。

※参照：横浜市「自助・共助・公助」

⑤日本は自然災害が多いことから「公助」による取り組みが絶え間なく続いている。しかし、広い範囲で大規模な災害が派生した場合には、公助の限界についての懸念も指摘されている。

※参照：一般社団法人全日本防災計画協会
「災害に強い社会づくりにおける重要な考え方」

⑥外見からは分からない「援助」や「配慮」を必要としている方々を表すマーク。

※参照：横浜市「ヘルプマークについて知っていますか？」

三章 - 1 共 助

自助・共助・公助について

災害への対応は、自助・共助・公助に分類されます。この3つはどれか一つが欠けても成り立ちません。

めあて 自助・共助・公助について知り、それぞれの課題やその解決方法を考える。

自助

身の回りの安全を確保して、生活用品を用意したり、ためらわずに避難するなど、自分や家族の安全を守ることです。

- 備蓄をしよう
- はまっ子防災MAPを見よう

共 助

災害時に、近所同士で助け合い、困難を乗り越えるなど、自分たちのまちを、自分たちで守ることです。

- 近所付き合いを大切にしよう
- 防災訓練に参加しよう

横浜市の防災力

自 助

- 人命救助、消火、避難誘導、医療など
- 支援物資、まちの復興・再建

公 助

横浜市をはじめ、国、県、消防、警察、自衛隊など公的機関による救助・援助のことです。

行政の役割

災害が起きたとき行政は、避難所を開設する、救援物資を運ぶ、飲水を配給する、建物の被害状況を調べるなどさまざまなことをして、私たちの生活を守ってくれています。また企業や団体も、強みを生かして被災地を支援してくれています。

行政と企業の連携

神奈川県建設業協会 横浜支部
● 中区役所の訓練のようす (地下室にて分電盤を確認)

建設業の特性を發揮して、官公庁の行う防災活動に積極的に協力し、横浜市からの要請に基づき非常時の災害対応、復旧作業に従事しています。

地域の復興

釜石鶏住居復興スタジアム
● 震災から約10年後のようす (p23の写真と比べてみよう)

震災による津波で流された小中学校の跡地に、復興のシンボルとして建設されたスタジアム。2019年ラグビーワールドカップの会場のひとつでした。

①補助・助成だけでなく、防災訓練や防災イベントなど様々な対策を取っている。
※参照：横浜市「市の対策(公助)」

②国や県、警察や自衛隊・海上保安庁・電力会社やガス会社・鉄道会社・テレビや新聞などの報道機関、様々な会社や市民団体と協力している。
※参照：横浜市教育委員会「横浜市防災教育の指針・指導資料」-紙媒体

③ <平常時>
防災・減災教育の場として地震の揺れや初期消火、煙からの避難など、様々なコンテンツが体験できる、横浜市唯一の防災体験型学習施設。

<災害時>
大規模災害発生時には、隣接する「沢渡中央公園」と一体化した「一時避難場所」として、被災者の応急救護活動拠点となる。
※参照：横浜市民防災センター「横浜市民防災センターとは」

④災害時には、医療機関に多くの負傷者が殺到し、非常に混乱する可能性が考えられる。限られた市内の医療機関の中で、混乱なく受診するために大切なことは、
1. 平時から、地域にある医療機関を知っておく
2. 緊急度や重症度に応じて、どの医療機関を受診すべきかを判断することである。
※参照：横浜市「横浜市の災害時の医療提供体制」

- 共助・公助の学習テーマ：他業種で支え合う地域の防災「農業と防災の関係性について」
- 1) 食糧について…食糧を生産できる農家は貴重な存在
- 2) 水の提供…災害応急用井戸として1,916施設が登録済
- 3) 農機具の活用…災害時に活躍する資材
(例：一輪車→荷物運搬、くわ→トイレの穴を掘る等)
- 4) 防災協力農地…避難場所や物資の保管場所として449件約250ha登録済ここでは農業を事例に挙げたが、様々な業界が防災とかわる活動をしていることを学んでいきたい。

学校で学んだ英語を活かして、日本語表記だけでなく、英語表記も展示することの意味を考えることで、英語を学ぶ意義について意識できるようにする。

JA横浜 やるJAんちゃんねる：
動画①【防災×農業】地域の絆！
災害時における農業の可能性

JA横浜 やるJAんちゃんねる：
動画②【防災×農業】防災協力農地とは？
農家さんインタビューで学ぶ！

⑦妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするもの。
※参照：厚生労働省「マタニティマークについて」

防災対策として、企業や団体も協力し横浜市が守られているということにも気付けるようにする。

2011年に発生した東日本大震災より復興(復活)する釜石を象徴したもの。本書でこれまでに学んだ災害が起こる前の備え、起こった後の対処に続いて、元に戻っていく希望も学んでほしい。被災地の現状を学び、どうしたら復興していけるのか、自分たちは何をしたらいいのかといったことを生徒自ら学び実践につなげていきたい。どのような復興を目指し、どのように復興計画を策定し、どのように復興を進めるのか事前の準備が重要である。

文字の色について
赤文字：単語の意味の説明
青文字：生徒への支援の視点や発展的な内容

学習の流れの例

- 1 避難所の役割について理解する
- 2 どのような人が避難所に来るか考える
 - 例) 乳幼児、老人、外国人、障害を持った方 等
- 3 その人たちがどのようなことに困るのか考える
 - 例) 思う存分遊べない、足腰が悪いのに床で生活しなければならない、日本語がわからない
- 4 自分たちができることについて考える
 - 例) 一緒に遊んであげる、避難所の運営を手伝う、日本語の案内以外に英語の案内を作る 等

学習後の生徒の姿

主体的に学習に取り組む態度

避難所の役割および課題を学ぶ中で、避難所で中学生ができることを理解し、その中で自分ができることを実行しようとしている。

このページの

指導案 ワークシート

はコチラから!

①東日本大震災の際、自らも被災している中学生が、高齢者を背負って移動を助ける様子。小さな体で重い水や物資を運んだ子もいる。そういった子ども達の姿は、震災後の厳しい状況にあって希望であったと記録されている。

※参照：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
「報告書・震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト」

中学生の頑張る姿に元気づけられたり、大人に言われるより、中学生に言われる方が大人は素直に聞けたりすることがある。

②避難所生活で健康に過ごすため、水分や塩分をこまめにとったり、体の運動や十分な睡眠・休息を取ったりする。

※参照：厚生労働省 「避難所生活で健康に過ごすため」

③市町村が指定するもので下記を目的とした施設である。
・災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させる。
・災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させる。

※参照：内閣府防災情報 「2-2 指定緊急避難場所・指定避難所-防災白書」

④荷物を運んだり、お知らせを掲示したり、専門的な知識がなくても協力できることはたくさんある。目の不自由な人に配慮し、お知らせは拡声器などをを用いた放送でしらせたり、耳の不自由な人に配慮し、放送によるお知らせは必ず掲示する等。

※参照：横浜市「地域ぐるみで災害対策
災害時要援護者支援ガイド 地域ぐるみで助け合い(共助)」

⑤障害があることを知ってほしい人
＜視覚に障害がある方の声＞
視覚に障害があることに気がついてもらえず「あっちにトイレがあります」というような説明をされて戸惑った。「あっち」と言われても指す姿は見えていません。
＜聴覚に障害がある方の声＞
外見からは聴覚に障害があるとわからないので話しかけられても戸惑うことがあります。
＜内部障害がある方の声＞
外見からは障害があることがわかってもらえず困ることが多いです。

※参照：土浦市
「避難所について 避難所における障害のある方・高齢の方への配慮」

三章 - 2 共 助

避難所で私たちができること

避難所は、地域の人々による助け合いによって運営されています。自分には何ができるかを考えることが大切です。

めあて 避難所でできることを実践しようとする意欲をもつ。ワークシート

イラストを例にして自分に何ができるかを考えてみてね!

避難所とはどのようなところ?

地震のときに開設される避難所を「地域防災拠点」といいます。家屋の倒壊などにより、自宅にとどまれない人が一定期間避難生活を送る場所で、横浜市内で震度5強以上の地震が発生したときに開設されます。地域防災拠点には、防災備蓄庫を設置し、自宅から持ち出せない人のための食糧や防災資機材を備蓄しています。横浜市内の市立小・中学校など459カ所が指定されています。
(令和4年4月1日現在)

体育館(避難所)
在宅避難ができない人たちが宿泊します。

給水所
災害時給水所を設けます。場所は「はまどきマップ」や「ロケスマ」などで確認できます。

炊事場
炊き出しや食料の支給をします。

物資の支援

ペット救護所

高齢者への声かけ

自らボランティアをする

小さい子の遊び相手

水や物資を運ぶ

配給をする

34

！避難所で気をつけること

避難所は被災した人たちが共同生活をします。いろいろな人と安心して過ごすために、私たちが気をつけることはなんですか？

- 大声でさわがないなど、他人の迷惑にならないようにする。
- 窃盗に気をつけ、貴重品を抱えて寝る。
- トイレはひとりで行かず複数人で行く。
- 笛や防犯ブザーを用意しておく。
- 怪しい人を見かけたら警察や施設担当者に連絡する。
- 手洗いうがい、消毒をこまめにする。

横浜市危機管理室からのメッセージ

避難所での生活を想像してみましょう
災害時に避難所で生活する場合、さまざまな人と昼夜を問わず、一定期間ひとつの空間で過ごすことになります。災害を皆で乗り切るために助け合いながらの共同生活です。自ら進んで誰かを助けられるように日頃から実践し、災害時に発揮できることを期待しています。

災害時のトイレ対策について
地域防災拠点には、自宅や避難所のトイレが使えなくなったときに備えて、さまざまな仮設トイレが備蓄されています。どんな仮設トイレがあるか、右の二次元コードから調べてみましょう。

ペットの避難について
避難所には動物を苦手とする人や、動物アレルギーなどの理由で動物と一緒にいられない人もいます。決められた場所に預けるようにしましょう。

注：仮設トイレは、便器に汚れが付きやすいので、ペットボトルに水を入れておき、使用後に水をかけきれいにしましょう。

35

①不特定多数が避難所に集まるなど、災害時は性暴力被害のリスクが高まると指摘されている。熊本地震の時には、家族から離れた場所で寝ていた10代少女の布団にボランティアの少年が潜り込んだ事件も起きている。

※参照：西日本新聞
【「娘の傷は一生消えない」避難所での性被害の闇 把握10件、相談できず潜在化も 熊本地震2年】

女性の性被害だけでなく、プライベート空間が確保できずストレスが溜まったり、盗難被害が出たりすることもあるため、非常時の人間の心理や行動の例を生徒の実態に応じて示す。

中学生の多くは地元中学校に通っており、災害時には地域にいると考えられる。そして、一定の理解力と体力を有しているため、行政も災害時の中学生の活躍に期待している。

②声を掛ける時は、「大丈夫ですか?」ではなく、「夜は眠れていますか?」など、具体的に質問をした方が答えやすい。

※参照：兵庫県立大学大学院看護学研究所
「災害時に避難所で高齢者の看護にあたられる皆様へ(ポケット版)」

③下水直結式仮設トイレ(通称:災害用ハマッコトイレ)
※参照：横浜市「下水直結式仮設トイレについて」

⑤横浜市の災害時ペット対策については、ガイドライン「災害時のペット対策」にまとめられている。ペット同行避難は、動物愛護の観点のみならず、放浪動物による人への危害防止などの観点からも必要な措置。

※参照：横浜市 「災害時のペット対策(震災)」

④＜確認しておくの良い点＞

- ・自分の行く避難所はペットの受け入れをしているのか
- ・どのような飼育環境なのか(屋外、屋内、車中泊など)
- ・受け入れているペットの種類(犬、猫以外の動物は受け入れているのか)

※参照：環境省 「自治体等が行う人とペットの災害対策」

文字の色について

赤文字：単語の意味の説明

青文字：生徒への支援の視点や発展的な内容

学習の流れの例

- 1 日頃から取り組める共助について考える
- 2 災害発生時に共助を上手く活用するにはどうすれば良いか考える
 - 例) 普段から地域の方とコミュニケーションをとっておく、積極的に地域防災訓練に参加する 等
- 3 p.37-40を読んだり記入したりすることで、災害時に役立つ知識を身につける

学習後の生徒の姿

主体的に学習に取り組む態度

災害時に中学生が活躍できることを自覚し、自助、共助の大切さについて学んだことを生かし、今後起こり得る災害に備えて試行錯誤しながら共助の輪を広げようとしている。

①東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨、北海道地震などの大規模な災害時、けがをしたり、孤立したりして消防に助けを求めても、「断られる」ケースが相次いでいる。

※NHK 「大災害時代 あなたに助けが来ないかもしれない…」

②救急車には、高規格というものがある。救急救命士が救急救命措置などを行うために有効な車内空間等を確保し、かつ必要な救急資機材を装備している。車内の電話で救命指導医と連絡をとり、実施しながら医療機関に搬送することができる。

※横浜市 「高規格救急車」

③最近では災害時に119番通報ではなく、ツイッターなどのSNSに救助要請を投稿するケース、いわゆる「#救助」が増えている。しかし、「SNSをチェックし、出勤につなげている」と答えた消防は0%だった。多くの消防が、会話の中で情報を確認できる119番通報を優先している。

※NHK 「大災害時代 あなたに助けが来ないかもしれない…～SNS救助要請 対応の消防は0%」

④震災の被災者の多くは、地域の助け合い(共助)の重要性を痛感したと語っている。倒壊家屋からの被災者の救出、パケツリレーによる初期消火など、隣近所の助け合いによる減災活動が、被害軽減に大きな力を発揮する。

※横浜市南区役所「みなみ防災ガイド中学生編」

地域防災訓練はコロナの影響で、中止されていることもある。もし開催されている場合は、積極的に参加するよう呼び掛ける。横浜市危機管理室からも、中学生の積極的な参加が望まれている。

三章 - 3 共助

今からできる防災への取組

大地震発生時には、消防車・救急車がすぐに現場に駆けつけられるとは限りません。そんなときには隣近所の助け合いが大きな力となります。

めあて 災害時に地域の担い手であることを自覚し、日頃から取り組む。

“あいさつ”から始めてみよう

日頃から近所の人たちとあいさつをして、交流を持ちましょう。災害発生時に助け合える関係をつくっておくことが、とても大切です。

『ご近所さん』はまっ子防災マンガく共助編



阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊によって建物の下敷きになってしまった人を、隣近所の人同士で助け出したといわれています。救急隊の到着が間に合わないとき、共助の力が発揮されます。

地域の防災訓練に参加しよう

災害時の被害を最小限に抑えるには、地域で行っている防災訓練に参加することが大切です。自治会・町内会などでは、地域の防災組織の訓練や地域防災拠点の避難所開設・運営訓練など、自主的な活動が行われています。写真は、横浜市立旭中学校で行われた地域防災訓練の様子です。旭中学の生徒と、学区を同じくする横浜市立中沢小学校の児童が参加し、地域のボランティアの方々と一緒にさまざまな訓練をしました。

- 災害用トイレを組み立てる
- 体育館に照明を設置する
- 手作り担架で救助者を運ぶ
- 炊き出し



災害用トイレを組み立てる。



プールサイドでトイレ用排水ポンプのエンジンをかけているところ。



手作り担架で救助者を運ぶ訓練。「イチ・ニ」と、タイミングを合わせるのがポイントです。

旭中学の校長先生は生徒たちに「中学卒業後も訓練の経験を生かしてほしい」、そして「地域活動の担い手になってほしい」と期待しています。この訓練は、子どもから高齢者まで、世代を超えて協力できる力が養えるそうです。みなさんも、防災訓練に参加して、自分たちの大切な地域を守っていきましょう。

取材協力：横浜市立旭中学校

気象予報士

くぼてんきさんと体験ツアーに行ってきたよ！ 横浜市民防災センター

※7分38秒
横浜市民防災センターは、「自助・共助の大切さを伝え、自分たちを守る行動を起こせる人の育成」を目的として、地震などのさまざまな体験を通して、わかりやすく、楽しみながら防災・減災を学ぶことができる施設です。

防災体験メニュー 2種類の体験ツアーと6種類のプログラムが体験できます。



■ 地震・火災体験ツアー 楽しく学んでしっかり備える！



■ 風水害体験ツアー(基本コース・キッズコース・共助コース) 逃げおくれゼロを目指せ！



入場無料 予約方法：ホームページ(予約システム・電話)、窓口での申し込み。

文字の色について

赤文字：単語の意味の説明

青文字：生徒への支援の視点や発展的な内容